

## 活動終了報告書（要約）

採択年度	2021 年度
コード番号	20-A-189

\* 記載者へのお願い: 本概での記述は本紙一枚に収めるようにして下さい(全体で 1100 字以内程)。

団 体 名	特定非営利活動法人 Accept International	申請額
		1,000,000 円
		助成額(受領額)
		1,000,000 円
事 業 名	ソマリアにおける元戦闘員の社会復帰に向けた受け入れ コミュニティの対話プログラム	事業地(国名)
		ソマリア
組 織 及 び 事 業 概 要		
<p>■ 組織概要〈創立年、趣旨、主な活動等〉 * 300 字以内 2011 年に創立（2017 年に法人化）された当法人は、冷戦以後の世界各地における地域・民族紛争の増加に対応し、紛争やテロの影響下にある、あるいは紛争やテロのリスクが懸念される国や地域を対象として、そのような地域の文化・社会の理解を通じて市民社会間に確かな信頼関係を構築すること、またその理解を踏まえて具体的な行動を起こし、世界平和と国際協力に資することを目的としています。特にテロ組織が絡む現代の紛争は従来の方法による解決が非常に難しく、新たな解決策が求められています。そこで新規でテロ組織に加入させない「過激化防止」と一度加入した方に対する「脱過激化・社会復帰」を通じて、テロや紛争の解決に貢献しています。</p> <p>■ 今回実施した活動の概要) * 400 字以内 首都モガディシュで実施する元戦闘員へのリハビリテーションプログラムの一環として、彼らを受け入れるコミュニティの代表者との対話プログラムを新設しました。本活動の目的は、コミュニティがイスラム過激派組織の元戦闘員への理解を深め、受け入れ準備を行うことです。彼らを理解することで社会復帰の成功を促し、円滑な社会統合、そして地域コミュニティの安定化までを目指しました。プログラムでは元戦闘員が過激化した背景、受け入れコミュニティが警戒心を持つ理由などを考え、議論を通じて理解を深めました。少数の元戦闘員も参加することで、事実の伝達に留まらず、脅迫や誘拐、洗脳など、彼らが過激派組織に加入せざるを得なかった背景の理解に焦点を当てました。また、これまで完全に非公開だった種々の提供プログラムとそこでの元戦闘員の変化について、当法人スタッフが説明するとともに、元戦闘員が直接スピーチをする場も設けました。</p> <p>■ 成果 * 400 字以内 初回の実施後には参加者の 8 割が、複雑な感情はありつつも元戦闘員の存在を認め、理解しようとすることの重要性を肯定的に捉えていました。また、彼らや実施中のリハビリテーションプログラムに対する偏見が 50%減少する結果となりました。中には彼らのスピーチを真剣な眼差しで聴き、ともに一人のソマリア人として少しずつでもいいから前に進んでいくことの重要性を語る参加者もいました。これにより、不信が深まっていたのは、コミュニティメンバーが元戦闘員の背景や葛藤について無知だったことが大きいと再確認できました。2 回目の実施回ではプログラムに改良を加え、投降促進に関する協働の取り付けや具体的なアクションプランの作成をすることができました。また、目標であるコミュニティと元戦闘員間のトラブルの減少について、報告されているのは現在のところ 0 件です。今後も継続的にモニタリングをしながら双方との対話を継続していきます。</p>		